

富山県在宅医療支援センター運営協議会

2021年3月5日(金)19:30～

富山県医師会館 4階 大会議室

司会 進行：井川常任理事

I. 開会挨拶

富山県医師会長

馬 瀬 大 助

富山県厚生部高齢福祉課地域包括ケア推進班長

駒 見 真 一

II. 議 題

報 告

1. 県厚生部高齢福祉課からの報告 資料 1-1 資料 1-2 資料 1-3 資料 2-1 資料 2-2

2. 2020年度 富山県在宅医療支援センター事業報告

・センター事業及び富山県在宅医療・本人の意思決定支援事業

資料 3 資料 4 資料 5-1 資料 5-2 資料 6 資料 7

3. 2020年度 郡市医師会在宅医療支援センター活動状況について 資料 8

4. その他

協 議

1. 2021年度 富山県在宅医療・本人の意思決定支援事業

2. その他

III. 閉会挨拶

富山県医師会副会長

炭 谷 哲 二

資料1-1

令和3年度 在宅医療支援センター関係予算要求額について

1. 富山県在宅医療支援センター運営事業

令和3年度予算（案）12,000千円

2. 医療・介護連携促進基盤整備事業

令和3年度予算（案）5,000千円

3. 在宅医療・本人の意思決定支援事業

令和3年度予算（案）6,500千円

資料1-2

医療・介護連携促進基盤整備事業

(R3 年度予算 (案) 5,000 千円)

1 趣旨

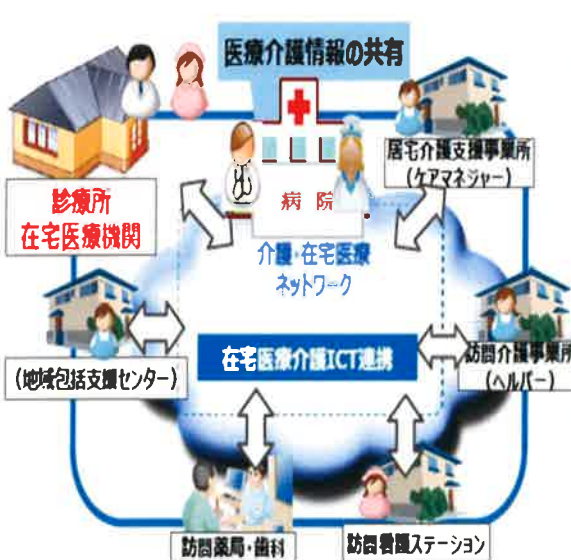
多職種の医療・介護関係者が在宅療養患者のバイタル情報や介護情報、画像などの情報をタブレット端末等でリアルタイムに活用できる新たな医療・介護情報共有システム（以下、「新たなシステム」という。）を整備するための経費を補助することにより、病床の機能分化・連携を促進し、患者が安心して転退院できるよう、病院と在宅医療、介護を支える機関が連携した切れ目ない提供体制の推進を図る。

2 予算額

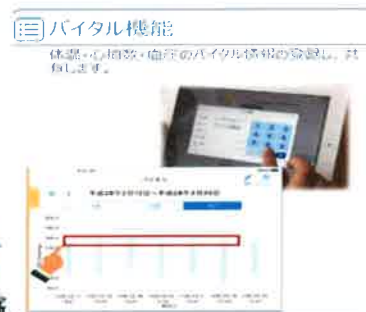
5,000千円（地域医療介護総合確保基金(医療分I)）
補助上限額 5,000 千円×1箇所分

3 事業の内容

対象者	対象経費	補助率	補助上限額
市町村 郡市医師会等	データ入力、参照、利用等のためのモバイル等端末機器 購入費	1/2	1 補助対象事 業者あたり 5,000 千円
	新たな医療・介護情報共有システムの開発にかかる経費 （事業初年度の経費であって、報酬、旅費、需用費、委託料、 通信運搬費、使用料及び賃借料に限る。）ただし、地域支援 事業の対象となる経費を除く。	10/10	



【表示例】



在宅医療・本人の意思決定支援事業

(R3 年度予算 (案) 6,500 千円)

1 趣旨

高齢化等により増大する医療需要に対応するためには、病床の機能の分化及び連携により、入院から在宅医療等への移行を円滑に推進することが必要であるが、在宅医療の推進には、患者本人の意向を尊重した治療が必要であり、もしものときのために、患者本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する ACP の取組みが重要になっている。

そこで、全県的に ACP を推進するために、県内 4 医療圏毎に各郡市医師会が共同して行う ACP の推進に向けた事業に対し、必要な経費を助成する。

2 実施主体

富山県（公益社団法人富山県医師会（県在宅医療支援センター）に委託）

3 予算額：6,500 千円（委託料）

【内訳】

4 医療圏毎に行う取組みへの助成：6,000 千円（1,500 千円×4 医療圏）
県医師会事務費：500 千円（成果報告会開催費用など）

4 事業内容

(1) 事業提案：4 医療圏の代表郡市医師会から事業計画書を提出

（事業名、目的、所要額、課題、事業内容、成果目標など）

(2) 内容確認：県医師会及び県で事業内容の確認を行い、助成対象事業及び助成対象経費等を決定

【取り組み例】

○ACP に関する多職種連携研修会の実施（事例検討、ワークショップなど）

○ACP に関する市民向けフォーラムの開催

○ACP 推進に係る普及啓発冊子の作成・配布

○医療圏内で使用する共通ツールの作成（意思聞き取りシートなど） 等

(3) 事業実施：進捗状況の把握

(4) 成果報告：成果報告書の作成、報告会の開催

5 期待する効果

(1) 在宅医療に携わる医師の資質向上（質の高い在宅医療の実現）

(2) 在宅医療に係る多職種連携の活性化

**在宅医療・介護連携推進事業に係る
富山県高齢者保健福祉計画・
第8期介護保険事業支援計画(素案)のポイント**

計画の体系

<第1節>高齢者の健康・生きがいくくり

1 健康寿命を延ばすための若いときからの健康づくり

- (1) 健康の保持・増進
- (2) 生活習慣病予防等疾病対策の推進
- (3) 健康づくりを支援する環境整備

2 エイジレス社会(生涯現役社会)への取組みの推進

- (1) 意欲や能力に応じた就業・起業支援
- (2) 高齢者等による地域社会の担い手づくりの推進
- (3) 生涯学習・スポーツ等の生きがいくくりの推進

<第2節>介護サービスの充実と地域包括ケアシステムの深化・推進

1 市町村の自立支援、介護予防・重度化防止に向けた取組みの推進

1-1 市町村の自立支援、介護予防・重度化防止の推進と生活支援体制の充実

- (1) 介護予防の普及啓発と介護予防活動の充実
- (2) 自立支援型のケアマネジメントの強化、地域リハビリテーション支援の充実
- 新** (3) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進
- (4) 生活支援体制の充実と地域住民が支え合う地域づくり

1-2 在宅と施設のバランスの取れた介護サービスの充実

- (1) 富山型デイサービス等のニーズを的確にとらえた在宅サービスの充実
- (2) 重度者を支える施設ケアの充実
- (3) 在宅復帰に向けた施設ケアの充実
- (4) 住み慣れた地域における多様な住まいの確保・質の向上

2 介護との連携による在宅医療等の推進

- (1) 在宅医療の推進と普及啓発
- (2) 質の高い在宅医療提供体制の整備
- (3) 在宅医療・介護連携の推進

3 認知症施策の推進

- (1) 認知症の普及啓発と予防、早期発見・早期対応の推進
- (2) 認知症の医療・ケア・介護体制の整備と地域連携の推進
- (3) 認知症になっても安心な地域支援体制の構築

4 災害や感染症への備えと安全安心なまちづくり

- (1) 災害に備えた体制整備
- 新** (2) 感染症に備えた体制整備
- (3) 高齢者にやさしいまちづくり
- (4) 高齢者虐待防止対策等の推進

<第3節>地域包括ケアシステムの深化・推進を支える体制づくり

1 地域包括ケアシステムを支える人材養成・確保と資質向上

- (1) 市町村と連携した保健・福祉の人材養成と確保
- (2) 高齢者を地域で支える多様な人材の養成と確保
- (3) 介護サービスを支える人材養成と資質向上

2 サービスや制度運営の質の向上・業務の効率化

- (1) 地域包括支援センターの体制・機能強化など総合的な支援体制の推進
- 新** (2) 市町村の保険者機能強化に向けた取組みへの支援
- (3) ICT等の活用による業務効率化及びデータ利活用の推進
- (4) 情報の公表等を通じた利用者への支援
- (5) 介護保険制度の適正な運営の確保

第2節 介護サービスの充実と地域包括ケアシステムの深化・推進

2 介護との連携による在宅医療等の推進

課題

- 1
 - ・在宅医療を正しく理解し、安心して選択できるよう普及啓発が必要
- 2
 - ・入院時から退院後を見据えた入退院支援の充実が必要
 - ・本人、家族が望む在宅療養を継続できるよう24時間対応可能な訪問診療や訪問看護、介護サービス等の体制の充実が必要
 - ・人生の最終段階の医療・ケアにおいて、本人の意思を尊重し、家族等の不安や負担に配慮した看取り体制の構築が必要
- 3
 - ・医療と介護の両方を必要とする高齢者のため、医療と介護の連携による総合的なサービス提供が必要
 - ・市町村の医療・介護連携体制構築について県も連携して取り組むことが必要

施策の方向・主な施策

①在宅医療の推進と普及啓発

- ・富山県あんしん在宅・訪問看護推進協議会による推進方策の検討
- ・かかりつけ医などを持つことや訪問看護の利用について、関係機関等と連携した県民への普及啓発を実施

②質の高い在宅医療提供体制の整備

- ・入退院時における医療機関と介護支援専門員等の連携促進
- ・訪問看護ステーションの機能強化等の促進
- ・訪問診療、訪問歯科診療、訪問服薬指導と介護サービスの連携促進
- ・病状急変時における医療提供について、関係者等との連携支援
- ・「人生会議」の理解促進と看取りにおける医療・ケア体制の充実
- ・**新たに在宅医療に取り組む医師への研修の充実**
- ・認定看護師や特定行為を行う看護師の養成・確保
- ・**感染症や災害時における継続的なサービス提供の体制の検討・構築**

③在宅医療・介護連携の推進

- ・入退院時の医療機関と介護事業所等の情報共有による支援の充実
- ・ICT等を活用した多職種連携による療養支援体制の促進
- ・厚生センターによる市町村の地域の実情に応じた広域的な医療と介護連携の推進に向けた支援

主な評価指標

- 訪問診療を行っている診療所・病院数(人口10万対)
- 訪問看護ステーション設置数(人口10万対)
- 退院調整支援実施率
- **看取り加算(NDB)**

【現状】 26.2 箇所(H30)	→ 増加させる(R5)	→ 維持する(R7)
【現状】 7.6事業所(R2)	→ 7.9事業所(R5)	→ 増加(R7)
【現状】 85.7%(R1)	→ 88.0%(R5)	→ 98%(R7)
【現状】 591(H30)	→ 増加させる(R5)	→ 増加させる(R7)

2020年度事業実施報告※全体スケジュールは資料4参照

1. 協議会 2回

第1回 2020年7月6日(月)

議題：富山県在宅医療支援センター及び郡市医師会在宅医療支援センター2020年度事業計画説明、等

第2回 2021年3月5日(金)

議題：富山県在宅医療支援センター及び郡市医師会在宅医療支援センター2020年度事業報告、等

2. ワーキンググループ会議 1回

2020年7月29日(水)

議題：(1) 富山県在宅医療支援センター研修会開催内容
 (2) 地域包括ケア活動報告会開催内容
 (3) 在宅医療スキルアップセミナー開催内容
 (4) 在宅医療推進に関する講演会開催内容
 (5) 在宅医療実務者研修(訪問診療同行見学)について
 (6) 在宅医グループへの活動内容の紹介の執筆依頼

3. 在宅医療実務者研修 座学1回 同行訪問1回

座学：2020年10月11日(日) かかりつけ医機能強化研修会 30名出席
 同行訪問：下記のとおり

・実地研修先の協力依頼について

ワーキンググループ会議(2020.7.29)での検討結果を踏まえ、県内で活動する在宅医グループ参加施設を対象に訪問診療同行見学受け入れについてアンケートを行った(8.17)。その結果、受け入れ可能とご回答いただいた県内19施設を富山県在宅医療支援センター訪問診療同行見学実施施設として登録(資料5-1参照)し、研修希望者が施設を選択できるシステムで参加を周知した。

在宅医療実務者研修・実地研修(訪問診療同行見学)申込者1名 資料5-2

実施日	時間	指導医師(郡市)	研修医師(郡市)
12月17日(木)	午後	一般開業医(下新川)	内科勤務医(富山)

4. 研修会・講演会等 資料6参照

- (1) 富山県在宅医療支援センター地域包括ケア活動報告会
テーマ：介護施設での新型コロナ対策
日時：2020年10月3日（土）19：00～20：30
会場：富山県医師会館 1階 大ホール
参加：医師、看護師、薬剤師等関係多職種 83名
オンデマンド配信総視聴回数 42回

- (2) 富山県在宅医療支援センター研修会これから始める在宅医療パート4
テーマ：在宅診療での新型コロナウイルス対策
日時：2020年12月6日（日）10：00～12：00
会場：富山県医師会館 1階 大ホール
参加：医師、看護師、薬剤師等関係多職種 53名
オンデマンド配信総視聴回数 32回

- (3) 在宅医療スキルアップセミナー
テーマ：在宅診療でのICT遠隔モニタリング
日時：2021年2月4日（木）19：30～20：30
会場：富山県医師会館 1階 大ホール Web併用
会場参加 17名、WEB申込者 50名
オンデマンド配信総視聴回数 135回

- (4) 富山県在宅医療支援センター講演会
テーマ：コロナ禍での看取り
日時：2021年3月22日（月）19：00～21：00
会場：富山県医師会館 1階 大ホール Web併用

- (5) 多職種活動紹介（センターHPにて）
 - 1) 富山市医師会在宅医療支援センター活動紹介（前川先生執筆）
 - 2) 多職種活動紹介（訪問在宅管理栄養士）

- (6) 県民向け周知
 - 1) HP「県民のみなさまへ」にQ&A掲載（全3回）
 - 2) 富山県在宅医療・本人の意思決定支援事業実施案内

- (7) 医報とやまでの富山県在宅医療支援センターお知らせページを掲載（2回）

5. 次年度に向けて

2021年度はより充実した事業内容となるよう努めるとともに在宅医療・本人の意思決定支援事業の円滑な運営に向けて準備を進める。

1. 在宅医療・本人の意思決定支援事業
2. 在宅医療新規参入者を対象とした研修会（多職種を含め開催）
3. 地域包括ケア活動報告会
4. 在宅スキルアップセミナー
5. 在宅医療に関する講演会
6. かかりつけ医機能強化研修会
(地域包括診療加算および地域包括診療料の施設基準にある「適切な研修」の一部となる内容を含む研修)
7. 訪問診療同行見学（実地研修（11月～3月実施予定））
8. センターHPの充実
 - ・ 県民向けの在宅医療についての解説
 - ・ 多職種活動紹介の継続
 - ・ 在宅医グループへ活動内容の紹介を執筆依頼
9. 医報とやまでの広報活動
 - ・ 富山県在宅医療支援センターおよび郡市医師会開催の研修会・講演会情報をまとめて掲載し、参加機会を広めていく。